

編集委員が  
インタビュー!

表紙：働く人シリーズに寄せて

## 電気の検針員の方に伺いました

**Q** お仕事の内容を教えてください。

**A** 毎日決められたエリアに行って、1日に多いときは約650軒、少ないときは約300軒、毎月7000軒くらいのお宅の検針をしています。

**Q** お仕事をはじめたきっかけは。

**A** 友達から紹介されました。当時は仕事の人気があって、1年くらい待ちました。現在まで12年間仕事をしています。今は新規の募集はしていません。

**Q** 検針を行うときに気をつけることは。

**A** 挨拶を心がけていることや、電気メーターがなかなか確認できないお宅も多いので、単眼鏡や鏡、ライトなども常備して仕事をしています。

**Q** お仕事で大変なことは。

**A** 天気に仕事が左右されることです。また、エリアによっては、駅やバス停などから遠い地域がありますので、基本は自転車で現場まで行き、徒歩で検針を行います。

**Q** お仕事をしていて感じることは。

**A** 最近はスマートメーターが普及しています。また、空き家が増えていると感じます。空き家でも月1回の検針をきちんと行っています。



ご協力いただいた電気の検針員の滝田千晶さん

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。  
市議会の会議録も見られます。  
政務活動費も公開しています。

ふじみ野市議会

検索



9月定例会の傍聴者は46人でした。

傍聴をお待ちしています

次の定例会の  
開会予定: **11月30日** 午前9:30~

請願締切予定: **11月20日** 午前10:00

市役所4階議場で開催します

### 議会広報常任委員会

委員長	有山 茂	副委員長	加藤 恵一
委員	川畑 京子	委員	島田 和泉
委員	民部 佳代	委員	鈴木啓太郎
委員	床井 紀範		

表紙の題字を書いてくれた人  
大井東中学校3年 上野るなさん

ふじみ野



ふじみ野市は、ごみが少なくとてもきれいな街です。また、身近に公園がたくさんありみんなが住みやすいです。そんなふじみ野市の良いところを多くの人に知ってもらい、たくさんの人で活気があふれる街になってほしいです。

「天災は忘れたころにやってくる」  
そんなことわざもあつたはずと恨め

### 編集後記

しく思うほど、多くの災害に見舞われた今年の夏。議会からも複数の議員がプライベートで被災地にボランティアに出かけたり、義援金集めに奔走しました。

中でも7月の西日本豪雨では220名を超える方が亡くなり、平成最大の豪雨災害となりました。予め予測して避難することが可能な災害だけに、どうすれば命を守れたのだろうと考えてしまいます。どれだけ備えても、自然の脅威の前には人の力が及ばないこともあります。山を切り開き、海を埋め立て、生活圏を広げてきた日本の土地利用。人口も減少に転じた今こそ、見直す時期にきているのかもしれない。  
(民部佳代)